

令和 2 年度 入学 試験 問題

地 理 歴 史

100 点満点

《配点は、一般入試学生募集要項に記載のとおり。》

地 理 B (1～11 ページ) 世界史 B (13～27 ページ)
日 本 史 B (29～43 ページ)

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 43 ページである。また、解答冊子は表紙のほかに、
地理 B : 12 ページ, 世界史 B : 16 ページ, 日本史 B : 8 ページ, である。
3. 問題は地理 B : 5 題, 世界史 B : 4 題, 日本史 B : 4 題である。
4. 試験開始後、選択した科目の解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名
をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 総合人間学部「文系」・文学部・教育学部「文系」・法学部「前期日程」・経済学部
「文系」受験者は、地理 B・世界史 B・日本史 Bのうちから 1 科目選択するこ
と。
6. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、選択した科目の解答冊子は持ち帰ってはなら
ない。

世界史 B

(4 問題 100 点)

I

世界史 B 問題

(20 点)

6 世紀から 7 世紀にかけて、ユーラシア大陸東部ではあいついで大帝国が生まれ、ユーラシアの東西を結ぶ交通や交易が盛んになった。この大帝国の時代のユーラシア大陸中央部から東部に及んだイラン系民族の活動と、それが同時代の中国の文化に与えた影響について、300 字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

白 紙

II

世界史B問題

(30点)

次の文章(A, B)を読み, の中に最も適切な語句を入れ, 下線部(1)~(8)について後の問に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A ムスリムと非ムスリムとは, 史上, 様々に関わり合ってきた。

ムスリムと非ムスリムとのあいだには, 様々な形態の, ^{あまた}数多の戦争があった。ムスリム共同体(ウンマ)は, 預言者ムハンマドの指揮のもと, 彼の出身部族である a 族の多神教徒たちと戦った。正統カリフ時代には, アラビア半島からシリアへ進出したのち, 東はイラク, イラン高原, 西はエジプト, 北アフリカへ侵攻し, 各地で非ムスリムの率いる軍と干戈^{かんか}を交えた。その後, イスラーム世界のフロンティアで, ムスリムと非ムスリムの政権・勢力間の戦いが度々起こった。たとえば, 現在のモロッコを中心に成立した b 朝は, 11世紀後半に西アフリカのサハラ砂漠南縁⁽³⁾にあった王国を襲撃, 衰退させたうえ, イベリア半島でキリスト教徒の軍をも破った。19世紀, 中央アジアのあるムスリム国家は, 清朝への「聖戦」を敢行した。また, 非⁽⁴⁾ムスリムの率いる軍がムスリムの政権・勢力を攻撃した例も数多い。⁽⁵⁾

ただし, ムスリムの政権・勢力は, 常に非ムスリムを敵視・排除してきたわけではない。たとえば, 初期のオスマン家スルタンたちは, キリスト教徒の君主と姻戚関係を結んだり, キリスト教徒諸侯の軍と連合したりしながら, バルカン半島の経略を進めた。その際の敵対の構図は, ムスリム対キリスト教徒⁽⁶⁾という単純なものではなかった。また, 16世紀以前のオスマン朝では, 君主がムスリムでありながら, 重臣や軍人の中に, キリスト教信仰を保持する者が大勢いた。⁽⁷⁾

ムガル朝では, 第3代皇帝アクバル以来, ムスリム君主のもと, 非ムスリムに宥和的な政策が採られ, ムスリムのみならず非ムスリムの一部の有力者も, ⁽⁸⁾支配者層のうちに組み込まれた。彼らは, 位階に応じて, 俸給の額と, 維持すべき騎兵・騎馬の数とを定められた。しかし, 第6代皇帝アウラングゼーブは, 非ムスリムにたいして抑圧的になり, ヒンドゥー教寺院の破壊さえ命じた

と言われる。ただし、一方で彼は、仏教・ヒンドゥー教・ジャイナ教の寺院群であるエローラ石窟⁽⁹⁾を、神による創造の驚異のひとつと称賛した。のち、イギリス統治下のインドでは、ムスリムと非ムスリムとが協力して反英民族運動⁽¹⁰⁾を展開することもあった。

ムスリムと非ムスリムとが盛んに交易を行ってきたことも、両者の交流を語る上で見逃せない。ムスリム海商は、8世紀後半には南シナ海域で活動していたといわれる。9世紀半ばに書かれたアラビア語史料によると、ムスリム海商たちのあいだで、現在のベトナム⁽¹¹⁾は当時、良質の沈香^{じんこう}を産することで知られていた。ムスリム海商の活動は、やがて東南アジアにおけるイスラーム化⁽¹²⁾を促した。

ムスリムと非ムスリムとのあいだには、イスラーム化以外にも、多様な文化的影響があった。イスラーム教とヒンドゥー教との融合によってスィク(シク)⁽¹³⁾教が創始されたことは、その一例である。ムスリムと非ムスリムとは、宗教を異にするが、いつも相互に排他的であったわけではない。その交渉の歴史は、今日の異文化共生を考えるためのヒントに満ちている。

問

- (1) 当時この地に都を置いていた王朝は、642年(異説もある)に起きたある戦いでの敗北によって、ムスリム軍への組織的抵抗を終え、事実上崩壊した。その戦いの名称を答えよ。
- (2) この地には、ファーティマ朝時代に創設され、現在はスンナ派教学の最高学府と目されている学院が存在する。この学院が併設されているモスクを何というか。
- (3) この王国は、ニジェール川流域産の黄金を目当てにやって来た、地中海沿岸のムスリム商人との、サハラ縦断交易で栄えた。この王国の名称を答えよ。
- (4) この国家は、後にロシアによって保護国化ないし併合されてロシア領トルキスタンを形成することになるウズベク人諸国家のうち、最も東に位置した。この国家の名称を答えよ。

- (5) 2001年、アメリカ合衆国は、当時アフガニスタンの大半を支配していたムスリム政権が、同時多発テロ事件の首謀者を^{かくま}匿っていたとして、同政権を攻撃した。この首謀者とされた人物の名前を答えよ。
- (6) 19世紀、オスマン朝は、バルカンの領土を次々に失っていった。1878年にはセルビアが独立した。この独立は、オーストリア＝ハンガリー帝国やイギリスなどの利害に配慮して締結された、ある条約によって承認された。この条約の名称を答えよ。
- (7) オスマン帝国内に居住するキリスト教徒は、自らの宗教共同体を形成し、納税を条件に一定の自治を認められた。このような非ムスリムの宗教共同体のことを何と呼ぶか。
- (8) この支配者層を何と呼ぶか。
- (9) この石窟の北東にある、アジャンター石窟には、特徴的な美術様式で描かれた仏教壁画が残る。その美術様式は、4世紀から6世紀半ばに北インドを支配した王朝のもとで完成された。この美術様式のことを何と呼ぶか。
- (10) この運動の一方を担った全インド＝ムスリム連盟の指導者で、後にパキスタン初代総督を務めた人物は誰か。
- (11) 9世紀にベトナム中部を支配していたのは、何という国か。
- (12) 東南アジアをはじめ、ムスリム世界の辺境各地で、イスラーム化の進展に寄与した者としては、ムスリム商人のほか、「羊毛の粗衣をまとった者」という意味の、アラビア語の名称で呼ばれた人々を挙げることができる。彼らは、修行を通じて、神との近接ないし合一の境地に達することを重んじた。このような思想・実践を何と呼ぶか。
- (13) この宗教の創始者は誰か。

B 現在、中国の海洋への軍事的進出はめざましい。中国における近代的な海軍の構想は林則徐や魏源らに始まる。林則徐は「内地の船砲は外夷の敵にあらず」と考え、⁽¹⁴⁾敵の長所を知るために西洋事情を研究した。彼の委嘱により『海国図志』を編集した魏源は、西洋式の造船所の設立と海軍の練成を建議している。

彼らの構想がただちに実を結ぶことはなかったが、太平天国軍と戦うために⁽¹⁵⁾

⁽¹⁶⁾ 郷勇を率いた曾國藩、左宗棠、李鴻章は、新式の艦船の必要性を認識していた。左宗棠の発案により福州に船政局が設立され軍艦の建造に乗り出す一方、⁽¹⁷⁾ 船政学堂が開設され人材の育成に努めた。西洋思想の翻訳者として後進に大きな影響を及ぼした嚴復もこの学校の出身者である。

しかし、日本の台湾出兵後にも、⁽¹⁸⁾ 内陸部と沿海部のいずれを優先するかという論争が政府内に起きたように、⁽¹⁹⁾ 海防重視は政府の共通認識にはなっていなかった。

そうしたなかで、李鴻章は海軍の重要性を主張し、福州で海軍が惨敗した清仏戦争を経て、1888年に威海衛の地に北洋海軍を成立させた。北洋海軍は⁽²⁰⁾ 外国製の巨艦の購入によって総トン数ではアジア随一となり、日本、朝鮮、⁽²²⁾ ロシアなどに巡航してその威容を示した。

⁽²³⁾ しかし、その一方で軍事費の一部がアロー戦争で廃墟となった庭園の再建に流用され、また政府内には北洋海軍の創建者である李鴻章の力の増大を恐れる者もあって、軍艦購入は中止された。

そして、⁽²⁵⁾ 日清戦争により、北洋海軍は潰滅した。海軍はやがて再建されて、⁽²⁶⁾ 民国期へと受け継がれ、その存在は国内政局に影響を与えたが、かつての栄光を取り戻すことはなかった。

1949年に誕生した中国人民解放軍海軍は、1950～60年代に中華民国と台湾海峡で戦い、1974年には西沙諸島(パラセル諸島)⁽²⁷⁾ でベトナム共和国と戦った。さらに、1980年には大陸間弾道ミサイルの実験にともなって南太平洋まで航海し、2008年にはソマリア海域の航行安全を確保するために艦船を派遣するなど、⁽²⁸⁾ アジアの海域や遠洋においてその存在感を高めている。

現在の人民解放軍海軍にとって、北洋海軍の歴史は日清戦争に帰結する悲劇として反省材料であると同時に、自らのルーツに位置づけられている。20世紀末に就役した練習艦が、福州船政学堂の出身で、日清戦争で戦死した鄧世昌を記念して、「世昌」と名付けられているのもその表れであろう。

問

- (14) 林則徐が 1839 年に派遣され、アヘン問題の処理にあたった都市の名を答えよ。
- (15) 太平天国の諸政策のうち、土地政策の名を答えよ。
- (16) 郷勇が登場したのは、従来の軍隊が無力だったためである。漢人による治安維持軍の名称を答えよ。
- (17) 当時、定期的に福州に上陸して、北京に朝貢していた国の名を答えよ。
- (18) 巖復の訳著の一つに『法意』がある。原著の作者である 18 世紀フランスの思想家の名を答えよ。
- (19) 1871 年にロシアに奪われ、1881 年に一部を回復した地方の名を答えよ。
- (20) フランスのベトナムへの軍事介入に抗して、劉永福が率いた軍の名を答えよ。
- (21) 19 世紀末に威海衛を租借した国の名を答えよ。
- (22) ドイツ製の戦艦「定遠」などが中国に向けて出航した港は、のちにドイツ革命の発火点となった。その港の名を答えよ。
- (23) 北洋艦隊が立ち寄った極東の軍港都市の名を答えよ。
- (24) この時、この庭園とともに円明園も焼かれた。その設計に加わったイタリア人宣教師の名を答えよ。
- (25) 下関条約で、日本に割譲された領土のうち、遼東半島はすぐに返還されたが、そのまま日本の手に残ったのは、台湾とどこか。
- (26) 奉天軍閥の首領で、1927 年に中華民国陸海軍大元帥に就任したのは誰か。
- (27) この国の首都の名を答えよ。
- (28) この海域にこれより約 600 年前に進出した中国船団の司令官の名を答えよ。

白 紙

Ⅲ 世界史B問題

(20点)

第二次世界大戦末期に実用化された核兵器は、戦後の国際関係に大きな影響を与えてきた。1962年から1987年までの国際関係を、核兵器の製造・保有・配備、および核兵器をめぐる国際的な合意に言及しつつ、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

白 紙

IV

世界史B問題

(30点)

次の文章(A, B)を読み, の中に最も適切な人名を入れ, 下線部(1)~(2)について後の問に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A 戦争には正しい戦争と不正な戦争があるとし, 正しい戦争とみなされる理由や条件を考察する理論を正戦論という。西洋における正戦論の起源は古代ギリシア・ローマに遡る。アリストテレスは戦争が正当化される場合として, 自己防衛・同盟者の保護の二つに加えて, 「自然奴隷」としてのバルバロイ⁽¹⁾の隷属化をあげた。共和政末期のローマで執政官であったキケロ⁽²⁾は, 敵の撃退・権利の回復・同盟者の保護のいずれかに加えて宣戦布告を正戦の条件として掲げたが, アリストテレスの自然奴隷説は省いた。

キケロの世俗的正戦論に宗教的な正当性の議論を付け加えたのが, 北アフリカのヒッポ司教であった a である。元来, キリスト教では隣人愛が説かれ平和が志向されたが, ローマ帝国で公認⁽³⁾され, ついで国教となったことで状況は変化した。 a は「神によって命じられた戦争も正しい」と述べ, 皇帝の戦争とキリスト教徒の戦争参加を条件付きで容認した。その背景にあったのは, 北アフリカで問題となっていた異端⁽⁴⁾ドナトゥス派を弾圧しようという意図である。

古代の正戦論は, 12世紀の『グラティアヌス教令集』等を経て, b によって引き継がれ体系化された。 b は『神学大全』において, 戦争を正当化する条件として君主の権威・正当な事由・正しい意図の三つをあげ, 私的な武力行使を否定した。

⁽⁵⁾ 中世の正戦論は聖戦の理念と結びついていた。ホスティエンシスらは異教徒の権利を強く否認したが, ローマ教皇インノケンティウス4世⁽⁶⁾らは慎重な立場をとり, 対異教徒戦をめぐる議論では後者が優位とされていた。コンスタンツ公会議⁽⁷⁾(1414~18年)では, ポーランド代表が武力によって異教徒を征服し改宗させようとするドイツ騎士修道会の方法を厳しく批判した。

だが, 西アフリカ沿岸部において探検が進むと, ローマ教皇はキリスト教世界の拡大を念頭に, 異教徒に対する戦争を正当化する立場を鮮明にした。

1452～56年の教皇勅書で、西アフリカからインドまでの征服権がポルトガル王および c 王子に与えられ、コロンブスの航海後は西方における征服権がスペインに与えられた。

新大陸の征服が進行し、⁽⁸⁾エンコミエンダ制が導入されると、アメリカ先住民の権利や征服戦争が議論の的となった。サラマンカ学派の始祖とされる神学者ビトリアは征服戦争の正当性に疑問を呈したが、神学者セプルベダは自然奴隷⁽⁹⁾説を援用して征服正当化論を再構築した。さらに17世紀のグロティウスはサラマンカ学派の理論を継承しながらも、自然法を神学から自立させ世俗的自然法のもとで正戦論を展開した。⁽¹⁰⁾

問

- (1) バルバロイに対置される古代ギリシア人の自称は何か。その名を記せ。
- (2) この人物の代表的著作を一つあげよ。
- (3) キリスト教はミラノ勅令によって公認された。この勅令を発した皇帝の名を記せ。
- (4) ネストリウス派を異端として追放した公会議はどこで開催されたか。その地名を記せ。
- (5) 1495年、マクシミリアン1世が招集した帝国議会において永久ラント平和令が布告され、フェーデ(私戦)の権利が廃絶された。マクシミリアン1世は何家の出身か。その名を記せ。
- (6) この教皇によってモンゴル帝国へ派遣されたフランシスコ(フランチェスコ)会修道士の名を記せ。
- (7) この会議の結果について簡潔に説明せよ。
- (8) この制度について簡潔に説明せよ。
- (9) ビトリアは1533年のインカ皇帝処刑等の報に接してアメリカ征服の正当性に疑義を表明した。インカ皇帝の処刑を命じたスペイン人の名を記せ。
- (10) セプルベダの論敵で、『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著したのは誰か。その名を記せ。

B およそ 5000 年前のこと、人類は経済活動を記録するために文字を創案した⁽¹¹⁾
と考えられている。それだけでなく、為政者の命令を民衆に知らしめるために
も、そして知識を蓄積し後世に伝えるうえでも、文字は革新的な発明品であつ
た。地球上には無文字文明の例も多くあるが、文字の発明は、いくつかの文明⁽¹²⁾
の成立と関わっている。

文字は、さまざまな材質の媒体に記されてきた。古代メソポタミアでは粘土
板が、古代エジプトではパピルスが、それぞれ記録媒体として用いられたの⁽¹³⁾
だった。⁽¹⁴⁾

文字の成り立ちはさまざまである。漢字やラテン文字(ローマ文字)など、国
家・民族を越えて文明圏共通の文字となったものや、旧来の文字から新しい文
字が考案されることも多々あった。仮名文字やキリル文字などである。

文字情報の伝達技術は時とともに発展し、それが人類史上のさまざまな変動⁽¹⁵⁾
の呼び水となることがあった。16 世紀のドイツにおいて、宗教改革が諸侯だ
けでなく民衆のあいだにも支持を広げた背景には、こうした技術発展が関わ
っていた。⁽¹⁶⁾

18 世紀以降、文字情報の伝達媒体として新聞が重きをなすようになった。
そして 19 世紀、技術革新にともない大部数化が進み、新聞社間で販売競争も
激化し、民衆の関心をひくために、画像を組み合わせた扇情的な記事で紙面が
埋められていくことになる。19 世紀末のアメリカ合衆国で、ある国に対する
好戦的世論が形成されるが、その要因の一つには、こうした新聞メディアの動
向があった。⁽¹⁷⁾

19 世紀末から 20 世紀前半の時代に入ると、これまでの文字とならんで、新
しい情報伝達手段が重要な地位を占めるようになる。とりわけ第一次世界大戦
後、アメリカ合衆国を中心にして映画などの大衆文化が広がっていくが、これ⁽¹⁸⁾
を促進したものの一つが情報伝達手段の革新であった。

20 世紀後半になると、情報伝達手段にいつそう劇的な変革が生じ、人びと
は家にいながらにして世界中の出来事を、大きな時間差なく、あるいは同時に
さえ視聴できるようになった。そして、こうした変革が世界政治に影響をおよ
ぼすようになる。1960 年代から 1970 年代にかけて、ある戦争の実相が、こ⁽¹⁹⁾

の新しい情報伝達手段を通じて世界中で知られるようになり、それが国際的な反戦運動をうながす一因になったのである。また一方で、この情報伝達手段によって事実の一部が歪曲わいきょくされて広がり、戦争容認世論(20)が強まることもあった。

1980年代以降に生じたIT(情報技術)革命は進化のスピードを速め、今日の人びとは軽量でコンパクトな端末機器を操作することで、家庭内ではもちろんのこと街頭においても、多様な情報を即座に入手し、さらには自身が不特定多数の人びとにむけて情報を簡単に発信できる時代に入った。そして、こうした端末機器が、「アラブの春」と呼ばれる民主化運動(21)に際し、運動への参加を市民に呼びかけるツールとなり、さらには、強権的な政府が管理する報道とは異なる情報を人びとに提供した。

問

- (11) 文字によって記録が残されるようになる以前の時代は、それ以降の、「歴史時代(有史時代)」と呼ばれる時代と区別して、何時代と呼ばれるか。
- (12) (ア) インカ帝国で使用された記録・伝達手段は何と呼ばれているか。
(イ) それはどのようなものであったか、簡潔に説明せよ。
- (13) 『聖書』の創世記にみえる洪水伝説の原型となったとされる詩文が、粘土板に記され現在に伝わっている。その叙事詩は何と呼ばれるか。
- (14) パピルスに記され、ミイラとともに埋葬された絵文書で、当時の人びとの靈魂観うかがが窺えるものは何と呼ばれるか。
- (15) キリル文字が考案された宗教上の背景を簡潔に説明せよ。
- (16) この関わりの内容を簡潔に説明せよ。
- (17) アメリカ合衆国は、この世論に押されるかたちで開始した戦争に勝利し、敗戦国にある島の独立を認めさせたうえで、それを保護国とした。その島の名を記せ。
- (18) アニメーション映画もこの時代に発展した。世界最初のカラー長編アニメーション映画『白雪姫』(1937年)を製作した兄弟の姓を答えよ。
- (19) この戦争の名を記せ。

- (20) 1991年に中東で勃発した戦争の際には、戦争当事国の一方が自然環境を損壊した、と印象づける映像が報道された。この戦争の名を記せ。
- (21) 「アラブの春」において、20年以上にわたる長期政権が崩壊した国を二つあげよ。

世界史B問題は、このページで終わりである。

白 紙